

教科編成表 医療事務学科(医療事務総合コース)

	教科科目	単位	年次	1年		2年	
			学期担当	前期	後期	前期	後期
教養	一般教養Ⅰ	1	堂下		1		
	一般教養Ⅱ	1	堂下			1	
	硬筆書写	2	※ 若狭	1	1		
学 科	臨床心理学	1	高橋				1
	秘書概論	2	※ 堂下	1	1		
	ビジネスマナー	2	※ 堂下			1	1
	薬理学	1	※ 合田		1		
	医療保障	2	※ 柴田	1	1		
	医学用語	1	※ 竹田	1			
	人体構造・機能論	2	※ 坂田	1	1		
	医療概論	1	※ 竹田	1			
	医学総論	1	※ 坂田		1		
	医療関連法規Ⅰ	2	※ 柴田	1	1		
	医療関連法規Ⅱ	1	※ 柴田				1
	基礎医学	2	※ 竹田				1
	調剤事務	4	川淵				2
	病院管理	1	川淵				1
計				7	8	6	6
実 技 ・ 実 習	診療報酬請求事務Ⅰ	8	※ 川淵	4	4		
	診療報酬請求事務Ⅱ	3.5	※ 川淵			2	1.5
	医事コンピュータ	2.5	※ 武川	2	0.5		
	DPC講座Ⅰ	0.5	※ 家常		0.5		
	DPC講座Ⅱ	1	※ 家常			1	
	ドクターズクラーク(電子カルテ)	2.5	※ 川淵			2	0.5
	ワープロ(Word)	1	川淵	1			
	表計算(Excel)	1	武川		1		
	プレゼンテーション(PowerPoint)	2	余湖			1	1
	PC基礎知識	2	柴田	1	1		
	データベース(Access)	1	川淵		1		
	PCエキスパート	2	川淵・武川			1	1
	実習・就職支援	2	川淵			1	1
	病院実習		川淵			(16)	
	卒業研究	2	川淵				2
	コミュニケーション技法Ⅰ	1	奥田	1			
コミュニケーション技法Ⅱ	1	奥田				1	
計				9	8	8	8
自主研修活動		8	各担任	2	2	2	2
単位合計		68	合計	18	18	16	16

syllabus

教科名 一般教養 I

	前期	後期
単位数		1

総単位
1

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務総合コース)

担当教員 堂下 智子 実務経験:秘書・営業事務・証券外務員

目的	各種問題集の演習を繰り返し行い、理解を深め採用試験対策をする。また経済用語、税制などの基本知識を習得する。
----	---

実務経験の生かし方	一般常識のテキストを使用しながら、広く知識を吸収できるよう授業を進める。生活を取り巻く、税金・金融商品・保険などの基本知識についても触れる。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	①	① 難読漢字・同字異読語
②	② 同音異義語の書き取り・四字熟語	
③	③ 文学史・思想史	
④	④ 日本地理①地形と自然	
⑤	⑤ 日本地理②観光と交通	
⑥	⑥ 日本地理③各地の機能・産業	
⑦	⑦ 日本国憲法	
⑧	⑧ 金融・財政	
⑨	⑨ 英単語 反意語・同義語・揭示用語・派生語・不規則動詞	
⑩	⑩ 英語 発音とアクセント	
⑪	⑪ 式の計算・文字式と指数法則	
⑫	⑫ 整式の展開と整理・因数分解・方程式	
⑬	⑬ 物理 単位・音と光・電気エネルギー	
⑭	⑭	

評価方法	中間試験・期末試験による100点満点の平均点数。定期試験80% 小テスト、提出物20%の総合評価。
------	---

教科書教材	教科書	教材	備考
	一般常識チェック&マスター		

その他	
-----	--

syllabus

教科名 一般教養Ⅱ

	前期	後期
単位数	1	

総単位	1
-----	---

開講学科 医療事務学科2年
(医療事務総合コース)

担当教員 堂下 智子 実務経験:秘書・営業事務・証券外務員

目的	社会人として必須となるオフィスでのマナー・スキルアップを目指す。各種ビジネス系検定の受験対策も行う。
----	--

実務経験の生かし方	テキストを使用し、基本事項の習得と同時にロールプレイングを重ねながら各自の実践力を高める。幅広い年齢層にフレキシブルに対応できるよう実例を挙げながら、コミュニケーション力のアップを図る。
-----------	---

授業概要	前期	後期
	① ビジネス文書検定対策ガイダンス	①
② ビジネス文書検定対策 基本問題	②	
③ ビジネス文書検定対策 過去問演習	③	
④ ビジネスマナー検定対策 基本問題	④	
⑤ ビジネスマナー検定対策 過去問演習	⑤	
⑥ サービス接客検定対策ガイダンス	⑥	
⑦ サービス接客検定対策 過去問	⑦	
⑧ 金銭授受に関する注意点	⑧	
⑨ 医療機関での接客	⑨	
⑩ スタッフとのコミュニケーション	⑩	
⑪ 社外文・社交文作成	⑪	
⑫ 電話応対 受発信	⑫	
⑬	⑬	
⑭	⑭	

評価方法	中間試験・期末試験による100点満点の平均点数。定期試験80% 小テスト、提出物20%の総合評価。
------	---

教科書	教材	備考
教科書 ケアコミュニケーション ビジネス文書3級実問題集		

その他	
-----	--

syllabus

教科名 硬筆書写

	前期	後期	総単位
単位数	1	1	2

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務総合コース)

担当教員 若狭 聖子 実務経験: 書写指導歴20年

目的	手書き文字の大切さと必要性を理解し、読みやすく美しい文字や文章を書く技術を習得する。硬筆書写技能検定3級取得に向けて理解を深めながら技能の向上を目指す。
----	--

実務経験の生かし方	教科書及び補足プリントを中心に、文字形成におけるメゾットをレクチャーし、能率的かつ効果的に演習を通して指導する。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 硬筆書写について 自分の名前を書こう ひらがな(字源をふまえて)	① 就職活動の応募書類(履歴書その1)
	② カタカナ(字源をふまえて)ひらがな、カタカナの文章など	② 就職活動の応募書類(履歴書その2)
	③ 漢字(基本点画)楷書	③ 長期研修、実習のお礼状など
	④ 漢字かな交じり文	④ 書写検定模擬テストその2
	⑤ 行書の基本とルール 行書の漢字	⑤ 書写検定模擬テストその3
	⑥ 楷書と行書の書き分け(熟語、文章)	⑥ 書写検定総復習(最終対策)
	⑦ はがきの表書き(宛名、差出人をルールに基づいて)	⑦ 書写検定振り返り(理論問題の答え合わせなど)
	⑧ 掲示文(横書き)	⑧ 日常生活で活かせる手書き文字 慶弔・心づくし(冠婚葬祭)
	⑨ 書写技能検定3級の理論問題その1	⑨ 日常生活で活かせる手書き文字 慶弔・心づくし(お祝い・お見舞いなど)
	⑩ 書写技能検定3級の理論問題その2	⑩ 社会人へ向けて ビジネス文書のフレーズ
	⑪ 速書きの演習など書写検定にむけて	⑪ 日本の言葉と文字 二十四節気・やまと言葉・国の和名・など書写で触れる
	⑫ 書写検定模擬テストその1	⑫
	⑬	⑬
⑭	⑭	

評価方法	年2回の定期試験(中間・期末)70%、課題提出・受講態度・出席状況30%をもって総合的に評価する
------	--

教科書教材	教科書	教材	備考
	硬筆書写技能検定3級合格ポイント(日本習字普及協会)	必要に応じてプリントを配布	

その他	1月 硬筆書写技能検定試験
-----	---------------

syllabus

教科名 臨床心理学

	前期	後期
単位数		1

総単位
1

開講学科 医療事務学科2年
(医療事務総合コース)

担当教員 高橋 由依 実務経験: 臨床心理士

目的	人の悩みや葛藤などの問題にはどのようなものがあるのか、それを解決していくためにどのような方法があるのかの基礎的な部分を理解することを目的とする。
----	--

実務経験の生かし方	臨床心理士として、発達クリニックやスクールカウンセラー、不登校のお子さん支援や親子面接などの現場で働いてきた経験を元に、心や発達に関わることや、社会で働いて行くにあたり知っておく役に立つメンタルヘルスなど知識を伝える。
-----------	---

授業概要	前期	後期
	①	① イントロダクション 臨床心理学とは
②	② 臨床心理学の成り立ち	
③	③ ライフサイクルと発達	
④	④ 発達過程で生じる課題	
⑤	⑤ アセスメント	
⑥	⑥ アセスメントの技法	
⑦	⑦ ストレスのメカニズム	
⑧	⑧ メンタルヘルス対策	
⑨	⑨ 精神的な病①: 症状の分類と診断	
⑩	⑩ 精神的な病②: 不安障害、気分障害	
⑪	⑪ 介入の理論	
⑫	⑫ 介入の方法	
⑬	⑬ まとめ	
⑭	⑭	

評価方法	リアクションペーパー(感想・質問)20%、定期試験70%、出欠席10%の合計100%で評価 リアクションペーパーは、毎回講義終了時に提出
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	『面白いほどよくわかる！臨床心理学』		

その他	
-----	--

syllabus

教科名 **秘書概論**

	前期	後期	総単位
単位数	1	1	2

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務総合コース)

担当教員 堂下 智子 **実務経験**: 秘書・営業事務・証券外務員

目的	ビジネスマナー全般を基礎から習得する。秘書検定の受検対策と併せ、正しい敬語での話し方、円滑な電話応対などをひとつの業務知識を身につける。
----	--

実務経験の生かし方	効率的なオフィスワークについて、実例をあげながら説明する。接遇・クレーム応対などベストな対処方法を実践できるよう指導する。
-----------	---

授業概要	前期	後期
	① 講義のガイダンス 挨拶の必要性	① 経済用語・政治用語・略語
	② 社会人としての身だしなみと心構え	② ファイリング・資料整理・名刺
	③ 敬語の種類 (尊敬語・謙譲語・丁寧語・美化)	③ 什器の名称・名刺交換のルール
	④ 敬語の使い方	④ パーティーマナー・ドレスコード
	⑤ 一般知識 (社会常識・経営・財務・一般会計)	⑤ 発送方法(郵便・宅配)
	⑥ 慶弔マナー	⑥ 機密文書の取り扱い
	⑦ 贈答・交際のマナー	⑦ 会議の準備と進行
	⑧ 会議に関する知識	⑧ アポイントなしの来客応対
	⑨ 社内・社外文書、社交文の種類	⑨ 上司への進言・後輩指導・説明方法
	⑩ ビジネス文書 レイアウト・慣用表現	⑩ 苦情応対・断り方の実践
	⑪ メール作成、送信時の注意事項	⑪ 各種グラフの書き方
	⑫ 電話応対(受発信)	⑫ IT用語
	⑬ 事務機器の名称・使用方法	⑬
⑭ 印鑑の種類と用途	⑭	

評価方法	中間・期末試験による100点満点の平均点数。定期試験70%。出欠率10%。小テスト、提出物20%の総合評価。
------	--

教科書 教材	教科書	教材	備考
	秘書検定2級集中講義 秘書検定3級実問題集 秘書検定2級実問題集		

その他	11月秘書技能検定試験3級 2月秘書技能検定試験2級
-----	----------------------------

syllabus

教科名 薬理学

	前期	後期	総単位
単位数		1	1

開講学科 医療事務学科2年
(医療事務総合コース)

担当教員 合田 由美子 実務経験: 薬剤師

目的	薬剤師として病院、調剤薬局での実務経験のある講師が、検査と薬品について、病院など医療機関で仕事をする上で必要となる基礎知識、常識を習得させる。
----	---

実務経験の生かし方	検査と薬品について、実際に医療機関で使われている用語や薬品名などについて実務経験をもとに各区分ごとに詳しく解説したい。
-----------	---

授業概要	前期	後期
	① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____ ⑥ _____ ⑦ _____ ⑧ _____ ⑨ _____ ⑩ _____ ⑪ _____ ⑫ _____ ⑬ _____ ⑭ _____	① 薬理学総論① ② 薬理学総論② ③ 末梢神経系作用薬 ④ 中枢神経系作用薬 ⑤ 消化器系疾患に用いる薬物 ⑥ 循環器系疾患に用いる薬物 ⑦ 代謝系疾患に用いる薬物 ⑧ 呼吸器系疾患に用いる薬物 アレルギー性疾患治療薬 ⑨ 抗炎症薬 ホルモン・ビタミン製剤 ⑩ 貧血および血液系疾患治療薬 感染症治療薬 ⑪ 輸液製剤 後期まとめ

評価方法	毎回ノート提出により30%、筆記による定期試験により70%計100%での評価
------	--

教科書 教材	教科書 新医療秘書医学シリーズ⑤ 検査・薬理学	教材 講師作成プリント	備考

その他	
-----	--

syllabus

教科名 医療保障

	前期	後期	総単位
単位数	1	1	2

開講学科 医療事務学科 1年
(医療事務総合コース)

担当教員 柴田 達也 実務経験: 医療事務・診療情報管理

目的	健康保険法、国民健康保険法など各法別に学習し、医療保障制度と国民・社会との関わりについて学習する。実務における事例を参考に、医療事務員として基礎的な知識の構築を目指す。
----	--

実務経験の生かし方	実務における業務ポイントの解説 (窓口業務、請求業務、届出業務について)
-----------	---

授業概要	前期	後期
	① 1部 医療機関の概要 医療保険のしくみ ② 1章 医療機関と薬局 I 医療機関①(医療法より) ③ I 医療機関② (開設者により) ④ II 薬局 III 医療機関と薬局の関係 ⑤ 2章 医療保障制度 I 医療保障制度の体系 ⑥ II 医療保険制度 ⑦ III 医療保険の種類① (社保) ⑧ III 医療保険の種類② (国保) ⑨ III 医療保険の種類③(後高) IV 被保険者証 ⑩ 3章 保険給付 I 保険給付の範囲と種類 ⑪ II 給付割合と患者負担 ⑫ III 高額療養費 ⑬ IV 長期高額療養費 V 保険外併用療養費 ⑭	① 4章 その他の医療関係制度 I 公費負担医療制度の概要 ② II 主な公費負担医療制度① (生活保護法:12)その1 ③ II 主な公費負担医療制度① (生活保護法:12)その2 ④ II 主な公費負担医療制度② (難病法など:54、51、52) ⑤ II 主な公費負担医療制度③ (感染症法:29、28、10、11) ⑥ II 主な公費負担医療制度④ (精神保健福祉法:20)その1 ⑦ II 主な公費負担医療制度④ (精神保健福祉法:20)その2 ⑧ II 主な公費負担医療制度⑤ (障害者総合支援法:15、16、21) ⑨ III その他助成制度 IV レセプトの記載 ⑩ V 労災保険・自賠責保険 ⑪ VI 介護保険 ⑫ ⑬ ⑭

評価方法	中間試験・期末試験による100点満点の平均点数評価
------	---------------------------

教科書	教科書	教材	備考
教科書教材	医療事務講座)テキスト1 医療関連法規 診療点数早見表	資料および問題を作成	

その他	
-----	--

syllabus

教科名 医学用語

	前期	後期	総単位
単位数	1		1

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務総合コース)

担当教員 竹田 圭子 実務経験: 看護師

目的	医療事務業務において、診療記録や医療情報を正確に読み取るために必要な、基本的な医療および医学用語が理解できるようになる。
----	--

実務経験の生かし方	医療現場での経験をもとに、多くの医療・医学用語の中から、実務に直結或いは頻繁に使用される用語を選択し、優先的に理解できるように配慮する。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 医療用語(医学・医療・医療職)	
	② 医療用語(医療機関・施設・医療行為・業務)	
	③ 医療用語(疾病・病態・診療情報管理・診療記録)	
	④ 医学用語(主な接頭語)	
	⑤ 医学用語(主な接尾語)	
	⑥ 医学用語(循環器)	
	⑦ 医学用語(呼吸器)	
	⑧ 医学用語(消化器)	
	⑨ 医学用語(泌尿器生殖器)	
	⑩ 医学用語(代謝・内分泌)	
	⑪ 医学用語(神経・感覚器・骨格系)	
	⑫ 医学用語(皮膚・精神)	
⑬ 医学用語(乳腺・妊娠・分娩・周産期)		

評価方法	①中間試験・期末試験による100点満点評価の平均点数 ②平常点(出欠状況・課題の取り組み状況など) ①90%、②10%、計100%での評価
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理Ⅱ 基礎・医学・医療用語編 (日本病院会)		

その他	
-----	--

syllabus

教科名 **人体構造・機能論**

	前期	後期
単位数	1	1

総単位	2
-----	---

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務総合コース)

担当教員 坂田富貴子

実務経験: 看護師

目的	身体を形態・構造の面から探究する解剖学と、機能の面から解明する生理学を学ぶ。これにより生体のメカニズムを知り、実際の臨床での患者の病態の具体例をもとに理解を深める。
----	--

実務経験の生かし方	解剖生理は疾病を理解する上で最も重要である。患者様の症状からくる身体各部の理解を深める。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 細胞組織の発生	① 呼吸器の構造と機能
	② 神経組織、筋組織	② 呼吸と呼吸運動
	③ 上皮組織、腺組織	③ 循環器の構造と機能
	④ ホルモンの生成と作用	④ 心臓の形成・機能
	⑤ 血液、体液	⑤ 血液の循環、刺激伝導系
	⑥ 頭蓋骨	⑥ 消化器の構造と機能
	⑦ テスト	⑦ 食道、胃、十二指腸
	⑧ 脳脊髄液、大脳皮質	⑧ 小腸、大腸、肝臓、膵臓
	⑨ 脊髄の神経組織	⑨ 泌尿器の構造と機能
	⑩ 脳神経	⑩ 生殖系の構造と受胎のメカニズム
	⑪ 体温の調節	⑪ 上肢・下肢の骨
	⑫ 交感神経、副交感神経	⑫ 上肢・下肢の筋肉
	⑬ 定期試験対策	⑬ 人体構造まとめ
⑭ テスト	⑭ テスト	

評価方法	① 期末試験による100点満点評価(70%) ② 平常点30%(出欠・学習態度・小テストの得点など)
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理士 I ぜんぶわかる人体解剖図	目で見える身体のメカニズム 解剖トレーニング プリント 解剖生理学ノート	

その他	
-----	--

syllabus

教科名 **医療概論**

	前期	後期	総単位
単位数	1		1

開講学科 **医療事務学科1年**
(医療事務総合コース)

担当教員 **竹田 圭子** 実務経験: **看護師**

目的	基礎医学の枠組みを理解し、医学と医療の歴史を踏まえた上で、社会保険・地域保健・予防医学を含めた現代医療の概要について学ぶ。さらに実務経験上の実例のもとで、臨床の実際と知識をアジャストでき、即戦力となり得るスキルを身につける。
----	--

実務経験の生かし方	概論で学ぶ医療の歴史が、現在の医療現場でどのような形となって活かされているか、特に外科的処置や手術、画像診断などについて、実際の経験に基づき、現場の様子を具体的に説明する。また、個人情報や倫理の重視、感染予防などが臨床において具体的にどのように展開されているか、経験に基づき説明する。
-----------	--

	前期	後期
授業概要	① 医学と医療	①
	② 世界の医学と医療の歴史 (古代～中世)	②
	③ 世界の医学と医療の歴史 (近世～現代)	③
	④ 日本の医学と医療の歴史	④
	⑤ 現代医療	⑤
	⑥ 医の倫理	⑥
	⑦ 脳死と臓器移植	⑦
	⑧ 個人情報	⑧
	⑨ 社会保障制度	⑨
	⑩ 医療制度	⑩
	⑪ 医療計画	⑪
	⑫ 地域保健	⑫
	⑬ 予防医学	⑬

評価方法	①中間試験・期末試験による100点満点評価の平均点数 ②平常点(出欠状況・課題の取り組み状況など) ①90%、②10%、計100%での評価
------	---

教科書教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理 基礎・医学編 (日本病院会)		

その他	
-----	--

syllabus

教科名 医学総論

	前期	後期
単位数		1

総単位	1
-----	---

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務総合コース)

担当教員 坂田富貴子

実務経験: 看護師

目的	医学は人体の仕組みを理解し、病気の原因、病態、診断、治療、予後などについて研究する学問であることを理解する。また私自身が臨床で得た知識を講義することで学生に理解を深めてほしい。
----	--

実務経験の生かし方	総論はすべての疾病の序論的な学問であるため、健康とは何か、病気とは何か、を経験を通して伝授したい。
-----------	---

授業概要	前期	後期
	① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____ ⑥ _____ ⑦ _____ ⑧ _____ ⑨ _____ ⑩ _____ ⑪ _____ ⑫ _____ ⑬ _____ ⑭ _____	① 健康と疾病 ② 病気になる組織、臓器の変化 ③ 検査所見 ④ 治療の方針 ⑤ 神経系の先天奇形 ⑥ 呼吸器系の先天奇形 ⑦ 定期テスト ⑧ 消化器系の先天奇形 ⑨ 生殖器の先天奇形 ⑩ 筋骨格系の先天奇形 ⑪ 染色体異常 ⑫ 定期テスト対策 ⑬ テスト ⑭ _____

評価方法	① 期末試験による100点満点評価(90%) ② 平常点10%(出欠・課題の取り組み状況)
------	--

教科書 教材	教科書	教材	備考
	診療情報管理士 I	人体構造と機能 病気の成り立ちと回復の促 身体 of 辞典	

その他	病院の検査の仕組み プリント
-----	----------------

syllabus

教科名 医療関連法規 I

	前期	後期
単位数	1	1

総単位	2
-----	---

開講学科 医療事務学科 1年
(医療事務総合コース)

担当教員 柴田 達也 実務経験: 医療事務・診療情報管理

目的	実務における事例を参考に医療関係法律、告示、通知および療養担当規則の目的・内容および遵守の必要性の理解を目指す。
----	--

実務経験の生かし方	<ul style="list-style-type: none"> ・各法律と業務との関連事例 (診療報酬、保険制度等の事例解説) ・医療制度・医療機関管理などの事務事例 (行政機関への届出・管理業務等の事例解説)
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 医療関連法規の種類 ② 第1章 医療施設に関する法規 医療法① ③ 医療法② ④ 医療法③ ⑤ 医療法④ ⑥ 第2章 医療従事者に関する法規 1. 医師法① ⑦ 1. 医師法② 3. 保健師助産師看護師法 ⑧ 4. 薬剤師法 ⑨ 5. 診療放射線技師法 6. 臨床検査技師等に関する法律 ⑩ 7. 理学療法士及び作業療法士法 9. 言語聴覚士法 ⑪ 8. 視能訓練士法 10. 栄養士法 ⑫ 11. その他の医療従事者に関する法規① ⑬ 11. その他の医療従事者に関する法規② ⑭	① 第3章 予防衛生に関する法規 2. 感染症法① ② 2. 感染症法② ③ 2. 感染症法③ ④ 1. 予防接種法 学校保健安全法、検疫法 ⑤ 第4章 保健衛生に関する法規 1. 地域保健法 ⑥ 2. 精神保健福祉法① ⑦ 2. 精神保健福祉法② ⑧ 6. がん対策法 7. 健康増進法 ⑨ 第5章 薬事関連法規 1. 医薬品医療機器等法① ⑩ 1. 医薬品医療機器等法② ⑪ 2. 麻薬及び向精神薬取締法 ⑫ 3. 血液製剤確保等に関する法律 ⑬ ⑭

評価方法	中間試験・期末試験による100点満点の平均点数評価
------	---------------------------

教科書教材	教科書	教材	備考
	医療関連法規 (医療事務講座)テキスト1 診療点数早見表	資料および問題を作成	

その他	7月・12月 診療報酬請求事務能力認定試験
-----	-----------------------

syllabus

教科名 医療関連法規Ⅱ

	前期	後期
単位数	1	

総単位	1
-----	---

開講学科 医療事務学科 2年
(医療事務総合コース)

担当教員 柴田 達也 実務経験: 医療事務・診療情報管理

目 的	実務における事例を参考に医療関係法律、告示、通知および療養担当規則の目的・内容および遵守の必要性の理解を目指す。
-----	--

実務経験の生かし方	<ul style="list-style-type: none"> ・各法律と業務との関連事例 (診療報酬、保険制度等の事例解説) ・医療制度・医療機関管理などの事務事例 (行政機関への届出・管理業務等の事例解説)
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 第4章 保健衛生に関する法規 3. 母体保護法	①
	② 4. 母子保健法	②
	③ 第7章 医療保険に関する法規 1. 健康保険法①	③
	④ 1. 健康保険法②	④
	⑤ 4. 国民健康保険法	⑤
	⑥ 5. 高齢者医療確保法	⑥
	⑦ 第8章 社会福祉関連法規 3. 児童福祉法	⑦
	⑧ 6. 障害者総合支援法	⑧
	⑨ 第10章 療養担当規則	⑨
	⑩	⑩
	⑪	⑪
	⑫	⑫
	⑬	⑬
⑭	⑭	

評価方法	期末試験による100点満点の点数評価
------	--------------------

教科書	教科書	教材	備考
教科書教材	医療関連法規 知っておきたい公費 医療事務講座)テキスト1 診療点数早見表	資料および問題を作成	

その他	7月・12月 診療報酬請求事務能力認定試験
-----	-----------------------

syllabus

教科名 **基礎医学**

	前期	後期
単位数	1	1

総単位	2
-----	---

開講学科 医療事務学科2年
(医療事務総合コース)

担当教員 竹田 圭子 実務経験: 看護師

目的	既習の人体の解剖・生理の一般的な知識を踏まえ、実務経験上の事例のもとで、様々な疾患のメカニズムや症状、治療などへの理解を深めるとともに、医療秘書資格を取得し、カルテを読み取るための医学的知識を身につける。
----	--

実務経験の生かし方	医療秘書検定試験に出題頻度の高い疾患の他に、臨床の場で会うことの多い患者さんの病態、一般的な治療や検査について、実際のケースを授業内容に数多く取り入れる。
-----------	---

授業概要	前期	後期
	① 虚血性心疾患	① 骨・筋肉系の損傷と疾患
	② 医療秘書検定対策(1)	② 腎・泌尿器系疾患
	③ 消化器疾患(潰瘍・肝炎・肝硬変)	③ 自己免疫疾患
	④ 医療秘書検定対策(2)	④ 内分泌疾患
	⑤ 生活習慣病(動脈硬化・脂質異常)	⑤ 眼科疾患
	⑥ 医療秘書検定対策(3)	⑥ 耳鼻科疾患
	⑦ 生活習慣病(高血圧・糖尿病)	⑦ 血液疾患
	⑧ 脳神経系疾患	⑧ 婦人科系疾患
	⑨ 高齢者(身体的特徴・老年期症候群)	⑨ 感染症
	⑩ 認知症(種類・病態・症状・対応)	⑩
	⑪ 消化器疾患(逆流性食道炎・胃癌・大腸癌)	⑪
	⑫ 呼吸器疾患(肺癌)	⑫
	⑬ 呼吸器疾患(喘息・肺炎・COPD)	⑬
	⑭	⑭
	⑮	
	⑯	

評価方法	①期末試験による100点満点評価 ②平常点(出欠・学習態度・小テストの得点など) ①70%②30%計100%での評価
------	--

教科書 教材	教科書	教材	備考
		しくみと病気がわかるからだの事典(成美堂出版) 医療秘書技能検定実問題集 (医療秘書教育全国協議会試験委員)	

その他	6月 医療秘書技能検定
-----	-------------

syllabus

教科名 調剤事務

	前期	後期
単位数	2	2

総単位	4
-----	---

開講学科 医療事務学科2年
(医療事務総合コース)

担当教員 川渕 彩子 実務経験: 医療事務

目的	薬剤の基礎知識と処方せんによる調剤報酬算定方法の習得 レセプト作成の為の基礎知識の習得 調剤事務管理士の資格取得を目的とする
----	--

実務経験 の生かし 方	
-------------------	--

授業概要	前期	後期
	① 処方箋の基礎知識	① 調剤事務管理士検定試験対策
	② 薬剤の基礎知識	② 演習問題
	③ 算定の基礎知識	
	④ 調剤基本料について	
	⑤ 薬剤料について	
	⑥ 特定保険医療材料料について	
	⑦ 調剤料(内服薬の算定)	
	⑧ 調剤料(屯服薬・外用薬の算定)	
	⑨ 薬学管理料について	
	⑩ レセプトの基礎知識	
	⑪ レセプト記入方法	

評価方法	100点満点の定期試験による評価
------	------------------

教科書 教材	教科書	教材	
	調剤薬局事務講座テキスト (ソラスト)		

その他	調剤事務管理士技能認定試験受験
-----	-----------------

syllabus

教科名 病院管理

	前期	後期
単位数		1

総単位	1
-----	---

開講学科 医療事務学科2年
(医療事務総合コース)

担当教員 川渕 彩子 実務経験: 医療事務

目的	病院の維持、管理において重要な経営管理と医療管理について、基礎的な知識を身に着けることを目指す。
----	--

実務経験の生かし方	医療制度、医療機関管理などの関連事例 (事務部門との関連事例解説)
-----------	--------------------------------------

授業概要	前期	後期
	①	① 組織と機能、管理と組織 財務・経営管理 説明・問題
②	② 施設管理 医療管理、診療部門 説明・問題	
③	③ 看護部門 説明・問題	
④	④ 医療技術部門・診療協力部門 メディカルスタッフ部門 説明・問題	
⑤	⑤ 教育研究部門、診療情報管理部門 説明・問題	
⑥	⑥ スタッフ機能事務部門 ライン機能事務部門 説明・問題	
⑦	⑦ 施設・機器維持管理部門 労働安全衛生・環境衛生管理部門	
⑧	⑧ ハウスキーピング部門、チーム医療とは 説明・問題	
⑨	⑨ チーム医療の主な活動 チーム医療の推進 説明・問題	
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		

評価方法	100点満点の定期試験による評価
------	------------------

教科書 教材	教科書	教材	
		資料および問題プリント	

その他	
-----	--

syllabus

教科名 診療報酬請求事務 I

	前期	後期	総単位
単位数	4	4	8

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務総合コース)

担当教員 川淵 彩子 実務経験: 医療事務

目的	授業のねらい 診療報酬請求事務の基礎を学び知識を身に付け、医療事務管理士検定取得に向けての学習を行う。 医療人としての患者接遇、マナーの習得を目的とする。
----	---

実務経験の生かし方	受付業務や算定業務等の実体験を説明の中に踏まえながら、実例を交えて指導していく。 座学が中心になる中で、教科書の問題に実務で得た知識をわかりやすく加えながら説明していく。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 医療機関の概要・医療保険のしくみ	① 手術料
	② 保険給付について	② 麻酔料
	③ レセプトの基礎知識	③ 画像診断
	④ 初診料	④ 精神科専門療法
	⑤ 再診料	⑤ 放射線料
	⑥ 医学管理等	⑥ 入院料
	⑦ 在宅医療	⑦ 患者接遇
	⑧ 投薬料	⑧ 公費負担医療
	⑨ 注射料	⑨ 入院レセプト作成
	⑩ 処置料	⑩ レセプト点検業務
	⑪ リハビリテーション	⑪ 学科試験対策
	⑫ 検体検査	⑫ 実技試験対策
	⑬ 生体検査	⑬ 医療事務管理士検定試験対策
	⑭ 病理診断	
⑮ 外来レセプト作成		

評価方法	中間試験・期末試験による100点満点の平均点数 課題提出40% 定期試験50% 出欠席10%、計100%での評価
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	医療事務講座(医科)テキスト、薬価表(ソラスト)	診療点数早見表(医学通信社) 各種検定対策問題集	

その他	医療事務管理士認定試験
-----	-------------

syllabus

教科名 **診療報酬請求事務Ⅱ**

	前期	後期	総単位
単位数	2	1.5	3.5

開講学科 医療事務学科2年
(医療事務総合コース)

担当教員 **川淵 彩子** 実務経験: **医療事務**

目的	授業のねらい 医療人としての基礎知識、患者接遇、マナーの習得を目的とし、医療秘書検定取得を目指す。
----	--

実務経験の生かし方	<ul style="list-style-type: none"> ・受付から会計までの患者接遇 (実際にあったクレーム等、現場で困った患者接遇など) ・診療報酬の算定方法、公費から労災など検定にはあまり出題されない症例を実務経験をともに各区分ごとに詳しく説明したい。
-----------	---

授業概要	前期	後期
	<ul style="list-style-type: none"> ① 診療報酬改定の説明 ② 患者接遇ロールプレイ ③ 外来・入院レセプト作成 ④ 医療秘書検定対策 	<ul style="list-style-type: none"> ① 医療秘書検定対策

評価方法	平常点・中間試験・期末試験による100点満点評価
------	--------------------------

教科書 教科教材	教科書 医療事務講座(医科)テキスト1~3、薬価表(ソラスト)	教材 診療点数早見表(医学通信社) 医療秘書技能検定問題集2級(慈慶出版)	備考
-------------	------------------------------------	---	----

その他	6・11月 医療秘書検定2級
-----	----------------

syllabus

教科名 **医事コンピュータ**

	前期	後期
単位数	2	0.5

総単位
2.5

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務総合コース)

担当教員 武川 真理子 実務経験: 医療事務・医局秘書

目的	診療報酬請求事務の知識の取得と、医事コンピュータ入力技術の習得 実務経験を踏まえ、医事コンピュータ技能検定試験合格に向けての知識と技術を教える
----	---

実務経験の生かし方	医療機関でのクレームで「待ち時間が長い」というものが一番多いため、会計時のクレームを減らすための入力方法等を習得する。また入力のミスが査定につながるため、就職した際に即戦力とされるよう多種多様なカルテを扱えるようにする。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 医事コンピュータの基礎知識	① 医事コンピュータ技能検定試験対策(2級)
	② 基本診療料(初診・再診)	② 伝票問題 I
	③ 投薬料(外来)	③ 伝票問題 II
	④ 注射料(外来)	④ 過去問題
	⑤ 医学管理料	⑤
	⑥ 処置(外来)	⑥
	⑦ 手術(創傷処理)	⑦
	⑧ 検査(外来)	⑧
	⑨ 画像診断(外来)	⑨
	⑩ 伝票からの入力(外来)	⑩
	⑪ 入院料	⑪
	⑫ 医事コンピュータ技能検定試験対策(3級)	⑫
	⑬ 伝票からの入力(入院)	⑬
	⑭ 過去問題	⑭
⑮	⑮	

評価方法	中間試験・期末試験、及び医事コンピュータ検定の点数による100点満点評価
------	--------------------------------------

教科書 教材	教科書	教材	備考
		カルテ例題集 (ケアアンドコミュニケーション 株式会社) 診療点数早見表 (医学通信社)	

その他	6月 医事コンピュータ検定試験 3級受験 11月 医事コンピュータ検定試験 2級受験
-----	---

syllabus

教科名	ドクターズクラーク(電子カルテ)	前期	後期	総単位
		単位数	2	

開講学科	医療事務学科2年 (医療事務総合コース)		
担当教員	川渕 彩子	実務経験:	医療事務

目的	医師事務作業補助として業務を遂行するにあたり求められるスキルと、診療録・電子カルテ・個人情報・医療安全などについて学び、医師から信頼される医師事務作業補助者としての知識修得を目標とする。
----	---

実務経験の生かし方	診断書の作成では、経験した記入上の注意点や、苦勞した点を交え指導し、学生の作成能力の向上、カルテを読み取る力を身に付ける。 カルテ入力では現場での実例を上げ、ドクターとのやり取りなど詳しく説明する。
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 医師事務作業補助の誕生背景	① 電子カルテ問答形式問題
	② 診療報酬での評価による対策	② 電子カルテ検定試験対策
	③ 業務範囲・業務内容の理解	
	④ 個人情報保護	
	⑤ OECD8原則	
	⑥ 電子カルテシステム	
	⑦ 医療機関の安全管理	
	⑧ 代行入力の業務範囲について	
	⑨ 院内感染予防	
	⑩ 病院交付診断書	
	⑪ 傷病保険診断書	
	⑫ 診療録記載・退院サマリー	
	⑬ その他、文書作成	
⑭ 検定試験対策		

評価方法	期末試験と平常点による100点満点評価 期末試験50%、平常点(出欠席・提出物)50%
------	--

教科書 教材	教科書	教材	備考
	医師事務作業補助者養成講座テキスト(ソラスト) 電子カルテシステムの理解と演習(C&C)	USB	

その他	医師事務作業補助者検定試験(9月、11月、1月) 電子カルテ検定試験(11月)
-----	--

syllabus

教科名 ワープロ (Word)

	前期	後期
単位数	1	

単位数	1
-----	---

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務総合コース)

担当教員 川渕 彩子 実務経験: PC教員

目 的	Wordの基本的な操作方法から、ビジネス文書作成の基礎、図形や表の作成などを学び、検定試験に向けた実技の練習等で実践的な技術の向上を図る。また検定問題を通し、応用力の修得を目指す。
-----	--

実務経験の生かし方	
-----------	--

授業概要	前期	後期
①	基本操作についての説明 検定についての説明→速度練習	①
②	速度練習 3級文書問題 説明→練習	②
③	速度練習 3級文書問題 説明→練習	③
④	速度練習 準2級文書問題 説明→練習	④
⑤	速度練習 2級文書問題 説明→練習	⑤
⑥	速度練習 準2級・2級文書問題 練習	⑥
⑦	中間試験(2級)	⑦
⑧	速度練習 準1級文書問題 説明→練習	⑧
⑨	速度練習 準1級文書問題 説明→練習	⑨
⑩	速度練習 1級文書問題 説明→練習	⑩
⑪	速度練習 1級文書問題 説明→練習	⑪
⑫	速度練習 準1級・1級文書問題 説明→練習	⑫
⑬	速度練習 準1級・1級文書問題 説明→練習	⑬
⑭	期末試験	⑭

評価方法	中間試験・期末試験・検定試験による100点満点の平均点数(平常点も含む)
------	--------------------------------------

教科書教材	教科書	教材	備考
		検定試験過去問題 模擬問題集 授業用プリント	

その他	日本語ワープロ検定試験 7月・10月・12月・2月実施
-----	-----------------------------

syllabus

教科名 表計算(Excel)

	前期	後期	総単位
単位数		1	1

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務総合コース)

担当教員 武川 真理子 実務経験: PC教員・秘書

目的	アプリケーションソフト・エクセルの機能と操作方法を理解させる。 関数を使った計算やデータを利用した集計などの技術の取得と、 上位級の資格取得のため対策を行う。
----	---

実務経験の生かし方	ショートカットキー等を使用し、時短での処理方法を学ぶ
-----------	----------------------------

授業概要	前期	後期
	①	① 四則計算 関数①SUM・AVERAGE
②	② 関数②COUNT・COUNTA 相対参照と絶対参照	
③	③ 関数③MAX・MIN 関数④ROUND・ROUNDUP・ ROUNDDOWN	
④	④ 関数⑤IF 3級問題	
⑤	⑤ グラフ作成	
⑥	⑥ 関数⑥IF(複数条件) 関数⑦VLOOKUP	
⑦	⑦ 準2級・2級問題	
⑧	⑧ データベース関数	
⑨	⑨ 準1級・1級問題	
⑩	⑩ 各検定対策	
⑪	⑪	
⑫	⑫	
⑬	⑬	
⑭	⑭	

評価方法	中間試験・期末試験・検定試験による100点満点の平均点数 (平常点も含む)
------	--

教科書 教材	教科書 30時間でマスター Excel2021	教材 検定試験過去問題 模擬問題集 授業用プリント	備考
-----------	-------------------------------	------------------------------------	----

その他	日本情報処理検定(表計算) 7月・10月・12月・2月実施
-----	-------------------------------

syllabus

教科名 プレゼンテーション(PowerPoint)

	前期	後期
単位数	1	1

総単位	2
-----	---

開講学科 医療事務学科2年
(医療事務総合コース)

担当教員 余湖 祥博

実務経験: 一般教員

目的	プレゼンテーションツールを使用し、その操作方法の理解と活用の基本を学び自分の考えをスライドにまとめる知識を習得する。また、その知識を応用し病院実習の考察をスライドにまとめ、発表できるようにするとともに、自己の音声・動画データの活用法やネット情報とのリンク活用について学ぶ。さらに資格試験にも挑戦する。
----	--

実務経験の生かし方	
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 基本操作と学習データダウンロード インターフェース・起動、保存、終了	① アプリケーションソフト(PowerPoint)の 基本操作の確認・発表スタイルの検討
② 基本的なプレゼンテーションの作成	② 発表用プレゼンテーションの流れと確認 プレゼンスタイルの決定	
③ スライドの修正法 表・グラフの基本について	③ インタネットとデータ収集について 実習内容のデータ入力①	
④ 表の作成・グラフ作成と編集について	④ 画像編集と外部データ活用 実習内容のデータ入力②	
⑤ 図形の活用(挿入編集) SmartArtグラフィックの活用	⑤ 画像編集と外部データ活用 実習内容のデータ入力③	
⑥ 画像の挿入と編集 ワードアートの活用	⑥ 外部情報とのリンクについて 実習内容のデータ入力④	
⑦ 特殊効果の設定について アニメーション設定・画面切り替え設定	⑦ スライドショー編集(アニメーション・画面切り替え)実習内容のデータ入力⑤	
⑧ アニメーションの活用について総合復習からパワーポイント3級用問題Ⅰ	⑧ スライドショー編集 完成	
⑨ 音声入力について 総合復習からパワーポイント3級用問題Ⅱ	⑨ 仮発表会実施	
⑩ プレゼンテーションとスライドの効率的活用 総合復習からパワーポイント3級用問題Ⅲ	⑩ 仮発表後のデータ・時間等の修正	
⑪ 発表者ビューの活用 目的別スライドの編集	⑪ 実習報告の発表会実施	
⑫ プレゼンテーションの流れと基本を確認 まとめ	⑫ 音声入力完了データの書き込み 制作展用データ作成	

評価方法	前期 実技試験により100点満点 後期 課題提出にて評価
------	---------------------------------

教科書 教材	教科書 よくわかるPowerPoint2021 基礎(FOM出版)	教材 プリントによる練習問題	備考
-----------	--------------------------------------	-------------------	----

その他	PowerPoint2021検定試験3級
-----	----------------------

syllabus

教科名 PC基礎知識

	前期	後期	総単位
単位数	1	1	2

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務総合コース)

担当教員 柴田 達也 実務経験:

目的	病院で使われている電子カルテシステムや医療情報システムを理解する上で必要なコンピュータの基礎知識を説明する。 医事コンピュータ検定の試験対策も行う。
----	---

実務経験の生かし方	コンピュータのしくみや取り扱いについて、資料・演習問題等を利用して知識と理解を深め、検定取得を目標とする。
-----------	---

授業概要	前期 概説	後期
	①	① ネットワーク技術(5)
	② コンピュータの基礎(1)	② ネットワーク技術(6)
	③ コンピュータの基礎(2)	③ 病院情報システム(1)
	④ コンピュータの基礎(3)	④ 病院情報システム(2)
	⑤ コンピュータの基礎(4)	⑤ 病院情報システム(3)
	⑥ コンピュータの基礎(5)	⑥ 病院情報システム(4)
	⑦ コンピュータの基礎(6)	⑦ 病院情報システム(5)
	⑧ 医事コンピュータ対策(1)	⑧ 医事コンピュータ対策(4)
	⑨ 医事コンピュータ対策(2)	⑨ 医事コンピュータ対策(5)
	⑩ 医事コンピュータ対策(3)	⑩ 医事コンピュータ対策(6)
	⑪ ネットワーク技術(1)	⑪ 情報セキュリティ(1)
	⑫ ネットワーク技術(2)	⑫ 情報セキュリティ(2)
	⑬ ネットワーク技術(3)	⑬ 情報セキュリティ(3)
⑭ ネットワーク技術(4)	⑭ 情報セキュリティ(4)	

評価方法	課題提出50%、定期試験50%、計100%での評価
------	---------------------------

教科書 教材	教科書	教材	備考
	医療情報の基礎知識(南江堂) 医事コンピュータ技能検定 問題(つちや書店)	プリント、ビデオ 医事コンピュータ関連知識 (建帛社)	

その他	医事コンピュータ試験 6月・11月
-----	-------------------

syllabus

教科名 データベース(Access)

	前期	後期
単位数		1

総単位
1

開講学科 医療事務学科1年
(医療事務総合コース)

担当教員 川淵 彩子

実務経験: PC教員

目的	Accessの基本操作(テーブル・クエリ・レポート・フォーム等の理解) 検定模擬問題を使用する説明と操作練習。
----	--

実務経験の生かし方	
-----------	--

授業概要	前期	後期
	①	① Accessの概要
②	② データベースの設計と作成	
③	③ テーブルによるデータの格納	
④	④ リレーションシップの作成	
⑤	⑤ クエリのデータ加工	
⑥	⑥ フォームによるデータ入力	
⑦	⑦ データ抽出と集計	
⑧	⑧ レポート作成	
⑨	⑨ 3級検定対策	
⑩	⑩ 2級検定対策	
⑪	⑪	
⑫	⑫	
⑬	⑬	
⑭	⑭	

評価方法	中間試験・期末試験による100点満点の平均点数
------	-------------------------

教科書 教材	教科書	教材	備考
	情報処理技能検定試験データベース模擬問題集3・4級 (日本情報処理検定協会)		

その他	12月、2月 日本情報処理検定データベース2・3級
-----	---------------------------

syllabus

教科名 PCエキスパート

	前期	後期
単位数	1	1

総単位	2
-----	---

開講学科 医療事務学科2年
(医療事務総合コース)

担当教員 武川真理子・川淵 彩子 実務経験: PC教員

目 的	ワード・表計算・データベース上級の資格取得を目的とする。 実務経験上の実例のもとで、実践的な技術の向上を図る。
-----	--

実務経験 の生かし 方	
-------------------	--

授業概要	前期	後期
	① 検定試験についての説明(W、Ex) ワード、エクセル:練習(2級) ② ワード:速度(2級) エクセル:説明・練習(2級) ③ ワード、エクセル各自問題取組み ④ ワード:速度(1級) エクセル:説明・練習(1級) ⑤ ワード、エクセル各自問題取組み ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭	① 検定試験についての説明(DB) 速度(1~2級)練習、DB(1級)説明 ② データベース問題説明 練習問題 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭

評価方法	期末試験・検定試験の結果による100点満点の平均点数 (取得試験等の平常点も含む)
------	--

教科書 教材	教科書	教材	備考
		検定試験過去問題 模擬問題集	

その他	日本情報処理検定 7月・10月・12月・2月
-----	------------------------

syllabus

教科名 実習・就職支援

	前期	後期
単位数	1	1

総単位	2
-----	---

開講学科 医療事務学科2年
(医療事務総合コース)

担当教員 川渕 彩子 実務経験: 医療事務・医局秘書

目的	病院実習・就職活動の指導およびサポートを行い、医療機関等への就職内定に向けて取り組む。
----	---

実務経験の生かし方	
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 履歴書の作成	① 就職活動
	② 実習記録ノートの準備	② 履歴書作成
	③ 実習先の事前学習	③ 面接練習
	④ 実習先の事前訪問	④ 内定のお礼状作成
	⑤ 実習終了後のお礼状の作成	
	⑥ 実習記録のまとめ	

評価方法	履修のみとする
------	---------

教科書 教材	教科書 勝つための就職ガイド SUCCESS	教材 履歴書	備考

その他	5月末ごろから各医療機関に3・4週間で実習する
-----	-------------------------

syllabus

教科名 病院実習

	前期	後期
単位数	(16)	

総単位
(16)

開講学科 医療事務学科2年
(医療事務総合コース)

担当教員 川渕 彩子 実務経験: 医療事務

目 的	実際の医療現場で、医療事務や医療秘書、病歴室など様々な職種を経験し、今後の勉強や就職活動の参考にする。また、患者様と接することで、言葉遣いや表情など座学では学ぶことが出来ないことを多く吸収する。
-----	---

実務経験の生かし方	
-----------	--

授業概要	前期	後期
	① 病院実習 (外来受付)	①
② (医療秘書)	②	
③ (診療情報管理室)	③	
④	④	
⑤	⑤	
⑥	⑥	
⑦	⑦	
⑧	⑧	
⑨	⑨	
⑩	⑩	
⑪	⑪	
⑫	⑫	
⑬	⑬	
⑭	⑭	

評価方法	各医療機関の担当者による評価表の点数と、実習中に学生が毎日記載するノートによる100点満点評価
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
		白衣・シューズ・実習ノート	

その他	5月末頃から各医療機関に3週間で実習する
-----	----------------------

syllabus

教科名 卒業研究

	前期	後期
単位数		2

総単位
2

開講学科 医療事務学科2年
(医療事務総合コース)

担当教員 川渕 彩子 実務経験: 医療事務

目的	病院実習で学んだ事を中心に、2年間の集大成として卒業研究発表会に向けてパワーポイントの作成等を行う。
----	--

実務経験の生かし方	
-----------	--

	前期	後期
授業概要	① _____	① 卒業研究発表に向けてデータ作成
	② _____	② 発表の練習
	③ _____	③ 制作展に向けて声入れ
	④ _____	④ _____
	⑤ _____	⑤ _____
	⑥ _____	⑥ _____
	⑦ _____	⑦ _____
	⑧ _____	⑧ _____
	⑨ _____	⑨ _____
	⑩ _____	⑩ _____
	⑪ _____	⑪ _____
	⑫ _____	⑫ _____
	⑬ _____	⑬ _____
	⑭ _____	⑭ _____

評価方法	発表会にて、各教員の点数の平均値をとる。 服装、挨拶、言葉遣い、声の大きさ、パワーポイントの技術等で評価する。
------	--

	教科書	教材	備考
教科書 教材			

その他	1月に学内の卒業研究発表会で優秀賞及び佳作を選ぶ
-----	--------------------------

syllabus

教科名 コミュニケーション技法 I

	前期	後期
単位数	1	

総単位	1
-----	---

開講学科 医療医務学科 1年
(医療事務総合コース)

担当教員 奥田 真弓 実務経験: 一般教員

目的	自己理解、他者理解から相互理解へと学びを深め、他者との協働の中で自己実現していくために必要なコミュニケーション能力の向上を図る。
----	--

実務経験の生かし方	
-----------	--

	前期	後期
授業概要	① コミュニケーションとは	① _____
	② 自己理解 思い込み枠の広げ方	② _____
	③ 他者理解 価値観の違い	③ _____
	④ コミュニケーションの仕組み	④ _____
	⑤ 話す・きく・観る(1)「話す」	⑤ _____
	⑥ 話す・きく・観る(2)「きく～聴く」	⑥ _____
	⑦ 話す・きく・観る(3)「きく～質問する」	⑦ _____
	⑧ 話す・きく・観る(4)「観る」	⑧ _____
	⑨ 話す・きく・観る(5)「共感力」	⑨ _____
	⑩ 感情の扱い方と表現方法	⑩ _____
	⑪ アサーティブな伝え方	⑪ _____
	⑫ 信頼関係をつくる言葉への言い換え	⑫ _____
	⑬ 相互理解とチームワーク	⑬ _____
	⑭ _____	⑭ _____

評価方法	平常点(授業参加度・提出物)50% 定期試験40% 出欠席10% 合計100%での評価
------	--

	教科書	教材	備考
教科書 教材	プリント配布	プリント	

その他	
-----	--

syllabus

教科名 コミュニケーション技法Ⅱ

	前期	後期	総単位
単位数		1	1

開講学科 医療事務学科2年
(医療事務総合コース)

担当教員 奥田 真弓 実務経験: 一般教員

目 的	自己承認力を高め、自信をもって社会に歩み出し、貢献するマインドを育てる。自他ともに受容し、認め合い、助け合いながら協働する中で自己実現を果たすためのコミュニケーション能力を高める。
-----	--

実務経験の生かし方	
-----------	--

授業概要	前期	後期
	①	① 自己分析と自己承認力
②	②	② 自他の承認力を高める
③	③	③ 自己の理想像を表現する
④	④	④ 問題解決能力を高める(対 自分)
⑤	⑤	⑤ 問題解決能力を高める(対 他者)
⑥	⑥	⑥ 価値観の受容と合意形成
⑦	⑦	⑦ 対人関係における信頼を育む
⑧	⑧	⑧ 自己実現のビジョンと言語化①
⑨	⑨	⑨ 自己実現のビジョンと言語化②
⑩	⑩	⑩ 人間関係をつくる自己開示
⑪	⑪	⑪
⑫	⑫	⑫
⑬	⑬	⑬
⑭	⑭	⑭

評価方法	平常点(授業参加度・提出物)50% 定期試験(レポート)40% 出欠席10% 合計100%での評価
------	---

教科書 教材	教科書	教材	備考
	プリント配布	プリント	

その他	
-----	--